

再 評 価 書

事業名	森林整備事業	事業区分	森林基幹道 木屋村山線	室名	伊勢農林水産商工環境 事務所																												
事業概要	工 期 (下段：当初)	平成 15 年～29 年	全体事業費 (下段：当初)	1,665 百万円 (負担率：国 50：県 50：他)																													
		平成 15 年～25 年		1,879 百万円 (負担率：国 50：県 50：他)																													
事業目的及び内容																																	
<p>(1) 所在地 度会郡南伊勢町 (旧南島町) 村山地区内にある林道大紀南島線を起点とし、度会郡大紀町 (旧大宮町) 木屋地区内の林道奥西河内線を終点とします。</p> <p>(2) 事業の目的 戦後に一斉造林されたスギ・ヒノキの人工造林と、薪炭林跡地 (二次林) の森林を効率よく整備し、森林資源の活用促進を図るとともに、森林の持つ公益的機能の早期発揮を目的とします。</p> <p>(3) 全体計画 ① 延長 : 10,086m (内訳：南伊勢町 3,351m、大紀町 6,735m) ② 幅員 : 3.5m ③ 事業費 : 1,664,600 千円 (165 千円/m) ④ 事業期間 : 平成 15 年度～平成 29 年度 (15 年間)</p> <p>(4) 利用区域の森林資源の状況 当該路線の利用区域面積は 343.54ha で、その内人工林面積は 166.94ha、天然林面積は 176.60ha で、人工林率は 48.6% です。また、8～10 齢級の人工林面積は 127.61ha で、人工林面積の 75% を占め、特に 8 齢級の人工林面積は 87.89ha と人工林面積の約半数の 53% を占め、不均衡な齢級構成となっています。 人工林の中で、間伐を必要とする 11～60 年生の林分は 166.94ha で 100% を占めています。</p>																																	
事業主体の再評価結果																																	
<p>1 再評価を行った理由 平成 15 年度に県単ふるさと林道事業で事業採択を受け (平成 19 年度から国庫補助森林整備事業で実施) 5 年を経過したことにより、三重県公共事業再評価実施要綱第 2 条に基づき (事業採択後一定期間を経過したことにより) 再評価を行いました。</p>																																	
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>(1) 事業着手 平成 16 年度全体計画調査を実施、大紀町木屋 (旧大宮町) 工区から事業を着手。</p> <p>(2) 進捗状況 (平成 19 年度末の事業量) ① 開設延長 : 4,123m (進捗率 41%) (内訳：南伊勢町 1,020m 大紀町 3,103m) ② 事業費 : 727,700 千円 (進捗率 44%) (内訳：南伊勢町 210,000 千円 大紀町 517,700 千円)</p> <p>(3) 課題 県予算の状況が年々厳しくなっており、単年度における開設延長は減少傾向となっています。</p> <p>(4) 利用区域内の森林整備の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">当初計画</th> <th colspan="2">H19 調査時点</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>整備面積</th> <th>うち受光伐</th> <th>整備面積</th> <th>うち受光伐</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16～H19</td> <td>65.50ha</td> <td>38.45ha</td> <td>51.16ha</td> <td>38.45ha</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20～H29</td> <td>74.90ha</td> <td>29.79ha</td> <td>186.74ha</td> <td>72.40ha</td> <td>計画</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>140.40ha</td> <td>68.24ha</td> <td>237.90ha</td> <td>110.85ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区 分	当初計画		H19 調査時点		備 考	整備面積	うち受光伐	整備面積	うち受光伐	H16～H19	65.50ha	38.45ha	51.16ha	38.45ha	実績	H20～H29	74.90ha	29.79ha	186.74ha	72.40ha	計画	計	140.40ha	68.24ha	237.90ha	110.85ha	
区 分	当初計画		H19 調査時点		備 考																												
	整備面積	うち受光伐	整備面積	うち受光伐																													
H16～H19	65.50ha	38.45ha	51.16ha	38.45ha	実績																												
H20～H29	74.90ha	29.79ha	186.74ha	72.40ha	計画																												
計	140.40ha	68.24ha	237.90ha	110.85ha																													

3 事業を巡る社会経済状況等の変化

1) 周辺環境の変化

- ① 平成 17 年 2 月に大宮町・紀勢町・大内山村が合併し大紀町に、平成 17 年 4 月に南勢町・南島町が合併し南伊勢町となる。
- ② 県道等の周辺道路の整備が進んでいる。
- ③ 主要幹線国道 42 号線のバイパス道となる伊勢自動車道尾鷲勢和線が、平成 20 年度に多気町（旧勢和村）から大紀町（旧大内山村）まで開通予定である。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

費用対効果指数は、当初の 1.20 から 1.68 へと増加しています。

原因

- ・ 間伐等の森林整備の増大が見込めるため。(便益増)
- ・ 波状線形、路肩縮減等の工事費の縮減に努めたため。(費用減)
- ・ 近年の工事請負率の低下によるため。(費用減)

区 分	当 初	今 回	増 減
B (便益)	2,423,636	2,872,155	448,519
C (費用)	2,017,716	1,708,998	△ 308,718
B/C	1.20	1.68	0.48

4-2 地元意向

(1) 受益者

現在計画が残る大紀町 (3,692m) 南伊勢町 (2,271m) の地区については、2 町及び森林所有者等から早期完成の要望があります。

(2) 大紀町・南伊勢町

基盤の整備は森林・林業の振興を始めとし、森林の適正な管理を進め森林の持つ多面的機能をより高度に発揮させる役割は大きく、当該林道は、山側に位置する大紀町と海側に位置する南伊勢町を結ぶ幹線林道でもあります。また、大紀南島線（旧大宮町阿曾と旧紀勢町注連小路を経由し南伊勢町に至る）と奥西河内線（旧大宮町地内の 2 つの地区を結ぶ）を結ぶ道としても重要不可欠であることから、事業継続を望んでいます。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

現地の地形に逆らわない波状線形の採用、路肩の縮減、重力式擁壁に替えて補強土壁工を活用し、掘削土量やその移動を少なくすることにより、土工事や法面保護工事を減らしコスト縮減を図ります。

5-2 代替案

当該林道の利用区域内の森林整備を図るためには、当該林道を開設する以外に代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第 3 条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第 5 条第 1 項に該当すると判断されるため、コスト縮減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し、事業を継続いたしたい。